



くすのき



No. 17

H26年8月発行

◆青少年健全育成協力店◆

市内のゲームセンターやカラオケ店、大型店など青少年にかかわりの多い60店舗に承諾いただき、「青少年に望ましくない商品の販売はしない」「店内の良好な環境づくりに努める」「非行少年のたまり場にならないようにする」「問題行動を発見したときは、『温かい一声』の依頼」「緊急時の一時保護・安全確保の依頼」の5項目について協力を求めています。

夏休みを前に、改めて全ての協力店を回り前述の依頼事項と最近の青少年の利用状況等について伺ってきました。特に問題になるような行為はありませんとの回答をいただきました。また、「子どもだけでの入場はお断りしています」とか「午後6時以降は、一声かけるようにしています」といった声を幾つかの店で聞かせていただきました。市内の青少年の状況が大変落ち着いたのも、こうしたお店の協力のおかげと感謝しています。

◆七月八月は青少年の非行・被害防止に
取り組む県民運動実施期間です◆

◆ニート（NEET）の若者への支援は◆

前回ニートの若者は真面目だけれど、自分に自信が持てないという側面があると紹介しました。「自分に自信が持てない→社会へ出ることに不安→孤立→他人とコミュニケーションができない→自分に自信が持てない」悪循環です。

がまごおり若者サポートステーションではニートの若者を対象に就職支援を行っています。初めての来所者へは、利用方法の説明を受けた後、初回相談を受けます。現在抱えている悩み、困っていることを聞き、それを解消するために何が必要か一緒に考えていきます。



たとえば「コミュニケーションが苦手」と答えた若者へは、コミュニケーションセミナー（SST：ソーシャルスキルトレーニングや、昼食作り）へお誘いするのだそうです。

共同作業の経験があまりない、包丁を握ったことがない若者も、同じような若者たちと一緒に、役割を与えられる。自分の役割を果たすと料理が出来上がる。一緒に会話しながら食べる。その経験を少しずつ積み重ねていくことで自信につないでいきます。更に職場見学や職場体験、ボランティア活動を通じて、就労意識を高めていくのだそうです。（まだ続きます）



7月14日、雨の三河大塚駅で、大塚中と蒲郡東高の生徒があいさつ運動を行いました。

9月の補導予定

大塚班 12日(金) 18:00 大塚公民館
 三谷班 19日(金) 18:30 三谷公民館
 蒲郡班 5日(金) 16:30 勤労福祉会館
 中部班 19日(金) 18:00 西部小
 塩津班 19日(金) 18:00 塩津公民館
 形原班 19日(金) 19:00 クラス構内
 西浦班 5日(金) 17:20 西浦駅
 よろしくお願ひします



◆編集後記◆

長崎県佐世保市で、女子高校生が普段から仲のよい友達を殺害するという大変痛ましい事件が発生しました。事件の背景にあるものは・・・など、いくつかの報道がされています。しかし、「殺人」という重大な行為とは乖離しているように思われてなりません。「人を殺してみたかった」という言葉は、以前、豊川市であった高校生による殺人事件を思い出しますが、どこからそんな思いが出てくるのか、そしてなぜ実行してしまうのか、青少年の健全育成に携わっているものとして、一層重苦しさを感ずる事件でした。こうした事件は、二度と起きてほしくないものです。

